

埼玉

SAITAMA

saitama@mainichi.co.jp

さいたま支局

〒330-9550

さいたま市浦和区仲町3の12の6

J S-1ビル1階

048・829・2961 FAX048・829・2964

熊谷支局

〒360-0041

熊谷市宮町2の122

第一宮町ビル5階

048・521・0012 FAX048・520・2208

埼玉東支局 048・735・9811

埼玉西支局 049・222・0518

越谷通信部 048・962・2038

所沢通信部 04・2928・3471

広告 は

埼玉毎日広告社 048・864・2521

購読 は

0120・468・012

「瓦礫(がれき)の中の露天風呂」と題された写真展「パレスチナのいま」から



父親の車いすを押す幼い子どもなど、当時でさえ深刻だったガザの苦境と、その中で懸命に生き抜いている人々の姿が写し出されている。

同キャラバンによると現在、現地とコンタクトを取るのには困難で、一部の写真家や写っている人たちが「今生きているかどうかも定かでない」という。

ガザでは戦闘開始以来、6万人以上が殺され、その多くが民間人とされる。食糧危機は深刻で、国連はガザ市などで「飢饉」が発生していると認識している。

【秋原佳孝】

父の車いすを押す幼い子どもなど、当時でさえ深刻だったガザの苦境と、その中で懸命に生き抜いている人々の姿が写し出されている。

同キャラバンによると現在、現地とコンタクトを取るのには困難で、一部の写真家や写っている人たちが「今生きているかどうかも定かでない」という。

ガザでは戦闘開始以来、6万人以上が殺され、その多くが民間人とされる。食糧危機は深刻で、国連はガザ市などで「飢饉」が発生していると認識している。

【秋原佳孝】

ガザの生活に思いを

人道危機が続くパレスチナ自治区ガザ地区について知ってもらおうと、杉戸町の「カルスタすぎ」で「パレスチナのいま、ガザ地区で暮らす子ども達」展が開かれている。

NPO法人「アースキヤラバン」(京都市)の協力で、町が平和企画展として開催した。2023年10月に始まったイスラエル軍によるガザ攻撃の前、17年に同キャラバンが実施したガザ写真コンテストに応募のあった写真家の作品を中心に約60点が展示されている。

がれきの中の浴槽で父親に髪を洗ってもらっている少女、両足を失った



「パレスチナのいま」展を見る人たち—杉戸町大島のカルスタすぎとで

杉戸で平和企画展 現地写真家らによる60点

市長の10月分給料を30

報告書は、市の調査センター。床コンセン

防犯カメラには出火

ような激しい閃光」が映っており、火が急速に燃え広がったことが分かっている。これについては「事務機の天板の温度が上昇し、机上に置かれたリチウムイオン電池が燃焼した」ことが原因の可能性が高いと推定したが、職員からの聞き取りなどでは電池や内蔵機器の存在は確認できなかったという。

再発防止に向けて、

レイアウトの定期的な防火に取り組みと火災は5月11時16分ごろ1階の執務室平方メートルを焼き、間後に鎮火し、舎は全体が使用

小島・深谷5選出馬

深谷市の小(64)は28日の

埼玉愛 熱いよ

ニュータッチ 凄絶
ンニヤママイ提供



ご当地

国交省「かわまちづくり」市

大落古利根川を登

春日部市中心部を流れる大落古利根川に、船着き場やスロープなど新たな水辺空間を整備する「春日部市大落古利根川かわまちづくり」計画が、河川を生かした地域活性化を支援する国土交通省の「かわまちづくり」支援制度に登録された。整備事業に国の交付金を受けられるようになる。県と市は来年度から事業に着手し、3年後の完成を目指す。県内で同制度の登録は10

カ所となる。整備される利根川の新町葛橋までの約の両岸。計画大塚春日部本岸に、カヌー着き場を兼ねラスを設け、で下りられるるほか、キッなどのスーする。

すでに親水ある古利根公の右岸にも、ロープや橋の